



南側外観

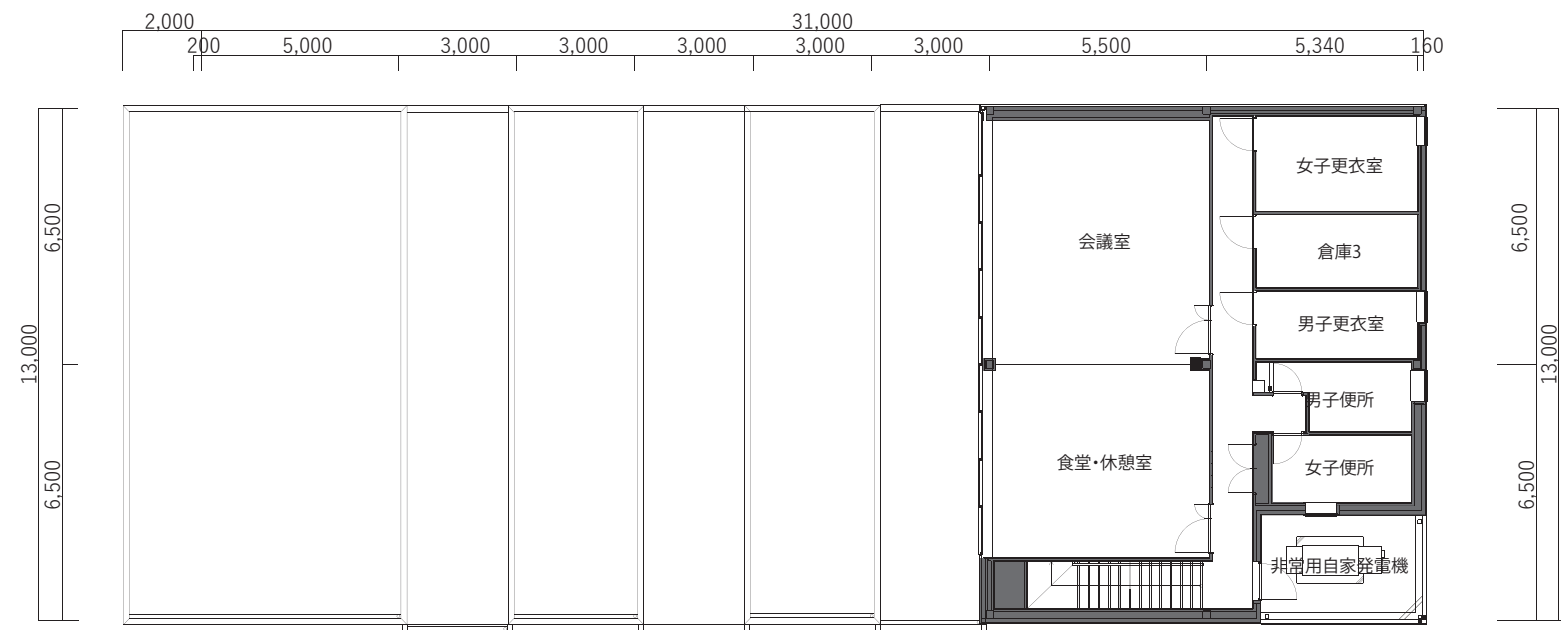


1階平面図 S1/100

しずおか焼津信用金庫 竜南支店

地元信用金庫支店の建替えの計画である。敷地は幹線道路（唐瀬街道）から1本脇に入った住宅街の一角にあり、元々田んぼだった土地を宅地として分譲していった結果できた残地であった。そのため間口が狭く奥に長いウナギの寝床の形状をしている。

普段銀行は道路に向かって利用者用ロビーを開放しファサードとして表出させるのが常套手段だが、この敷地は前面道路に向けて間口が小さいためこの手法が使えなかった。そこで我々はファサードという表層のデザインに傾倒するのではなく、建築の建現れ方自体がこの支店の固有性を獲得する手法を検討した。



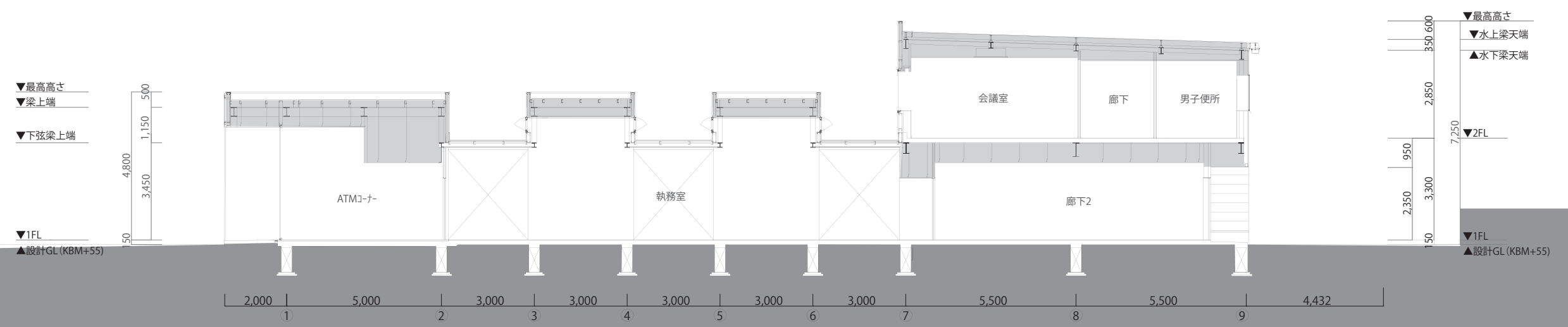
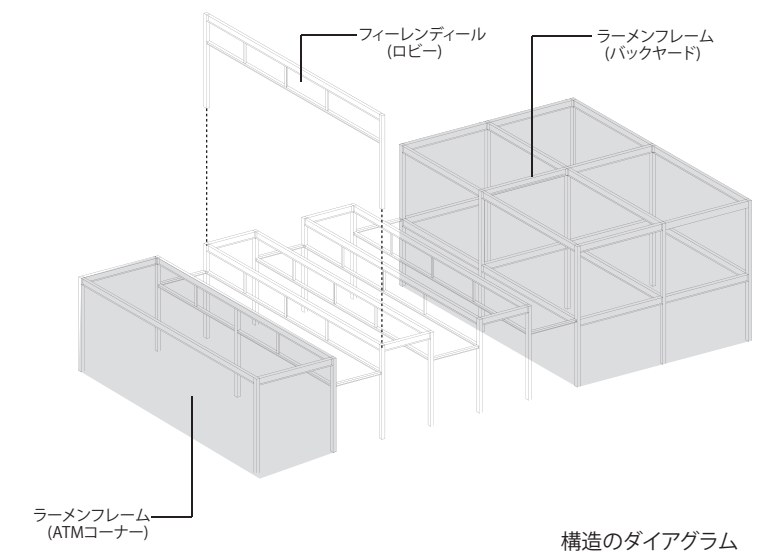
2階平面図 S1/100



私達はこの敷地に 14mパンのフイーレンディール梁を門型に並べ、支店の中心となる窓口ロビーを配置した。さらにフイーレンディール梁の上弦材と下弦材に屋根を 1m 毎に互違いに架け、特徴ある凹凸のある屋根を構成した。この屋根はこの支店の外観に固有性を強調するとともに、屋根の段差に設けたハイサイドからは時間ごとに移ろう自然光がロビーに表情を与える。このように構造の形態がダイレクトに空間の性質に繋がる、または空間と構造体が抜き差しならない関係性をつくることで、強度の高い建築をつくりたいと考えた。

構造計画

大パンの無柱空間となるロビーはフイーレンディール梁とすることで梁部材寸法を抑え、内装のスケールから逸脱しないようにした。さらにロビーの手前と奥に配置される ATM コーナー、と職員用バックヤードは剛性を高めたラーメンフレームとし地震力を負担することで、建物全体の剛性を高めた計画としている。





ロビーからATMコーナーを見る



ロビーから南側外部を見る



ロビーから南側外部を見る



ロビーから南側外部を見る



ロビー天井を見上げる